

# 宇和島の課題再発見

1年1組 船田 大和 1年2組 門田 龍馬 1年2組 藤谷 瞭成  
1年3組 本城 拓海 1年4組 松浦 尚輝  
指導者 井上 真介 西岡めぐみ 松田 彩 渡部 陽子

## 1 課題設定の理由

昨年宇和島では、パークス来航 150 周年記念式典が行われた。私たちは、なぜパークスが宇和島に来たのかについて興味を持った。現在、宇和島には和霊大祭や宇和島城の他にも様々な魅力があると考え、パークス来航と宇和島の魅力の関連について調べることにした。

## 2 研究の方法

パークス来航と宇和島の魅力の関連についてインターネットで情報を収集し、図書館で文献を集め、宇和島の歴史、産業、観光を中心に調べた。その結果を元に考察した。

## 3 結果と考察

研究を始めた当初、私たちは、パークスが宇和島に来航した背景には宇和島に魅力を感じてやってきたのではないかと仮説を立てた。しかし、調べ学習を進めた結果、以下のように記述されていたことから、明確な関連を見いだすことはできなかった。

幕末の日本には、開国問題で先の見えない混迷の極みにあった。その中で、慶応元年五月にヴィクトリア女王はハリー・スミス・パークス卿を日本の全権委任公使として日本に派遣したのである。横浜について僅々四ヶ月の間にハリー・パークスは、フランス、オランダ、アメリカ、イギリスの四ヶ国外交国のコンセンサスをまとめ上げ、第二次長州戦争のために、大阪に滞在している將軍家茂と京都に滞在している天皇に軍事的圧力をかけた。その後、パークスは長崎に立ち寄り、友好訪問できる場所はないのか。と聞いたところ、名乗り上げたのは、宇和島と鹿児島だけだった。

『Visit of British Squadron with Sir Harry S. Parks to Uwajima in 1866』より引用

そこで、宇和島の魅力と課題について、再度調べることにした。特に宇和島の課題は若者の人口流出にある（表 1）。私たちはこの様な課題が出ている背景に、若い世代が宇和島に関心を向けてないことや、宇和島の魅力を広めることができていないのではないかと考察した。

表 1 宇和島市の人口動向（宇和島市公式ホームページより引用）

	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 24 年	平成 29 年
総人口	100,776 人	95,641 人	89,444 人	83,000 人	80,000 人
年少人口 (14 歳以下)	16,495 人 (16.4%)	13,825 人 (14.5%)	11,675 人 (13.1%)	9,400 人 (11.3%)	8,210 人 (10.3%)
生産年齢人口 (15~64 歳)	62,553 人 (62.1%)	57,576 人 (60.2%)	52,193 人 (58.4%)	45,950 人 (55.4%)	41,400 人 (51.8%)
老年人口 (65 歳以上)	21,728 人 (21.6%)	24,240 人 (25.3%)	25,576 人 (28.6%)	27,650 人 (33.3%)	30,390 人 (38.0%)

#### 4 まとめと今後の課題

私たちは、パークス来航と宇和島の魅力の関連について調べ学習を続けた。明確な関連性を見つけることはできなかったが、調べる過程で、宇和島藩が江戸時代末期に重要な役割を担っていたことを知ることができた。この活動は、郷土に対して私たちの関心を高めることにつながり、宇和島の魅力を若者に知ってもらいたいと思うようになった。今回の研究の結果からも分かるように、現在、宇和島では若者の人口減少が顕著である。世界的に見ても文化的価値のある建造物や誇るべき歴史があるにも関わらず、若者がそれらの魅力に気付くことができていないことが一つの原因であろう。今後は、宇和島の魅力についてさらに調べていくとともに、それらの内容を積極的に発信していくことで、宇和島にいる若者の郷土愛を一層深めるのみならず、宇和島を活気ある町にしていきたいと考える。

#### 参考文献

- ・宇和島市公式ホームページ <https://www.city.uwajima.ehime.jp/soshiki/3/kyoudou5.html>
- ・近藤博文(2016)『Visit of British Squadron with Sir Harry S. Parks to Uwajima in 1866』宇和島歴史文化研究会